

I. 自立支援事業—自主事業

ア) 居住・生活困窮者等社会復帰支援事業

①「まちかど館」の運営

まちかど館 第一 2004年12月12日開設

入居者数：6名（2021年3月31日現在）

（収入状況）自立準備ホーム：1名 年金＋生活保護：1名
就労収入＋生活保護：2名 生活保護：2名
年間利用者実数：9名
退去者数：2名（施設へ1名 病院へ転院1名）

まちかど館 第二 2013年2月1日開設

入居者数4名（2021年3月31日現在）

（収入状況）生活保護＋就労収入＋障害者年金受給：1名 生活保護1名
年金＋生活保護：1名 就労収入＋生活保護：1名
年間利用者実数：4名
退去者数：0名

②生活指導等の実施：生活指導、金銭管理、清掃指導、食事支援、安否確認、飲酒指導

③各種手続き支援：年金、銀行、行政等手続き支援
：医療支援（予約連絡、同行、医師からの説明通訳、投薬見守り）

④社会再生支援：・声掛け・コミュニケーション支援・ボランティア参加支援・就労支援
・就労準備支援進捗状況確認・行政関係連絡支援・SOS相談者支援
・サービス付高齢者住宅転居者への訪問面会 多重債務処理手続き支援

⑤困窮者からのSOS対応（複数回対応含む）

総数（延べ）113件 ・ 実相談者数 50人（男性42人 女性8人）

本人から相談74件 ・ 家族・知人からの相談6回

保護観察所、刑務所、警察（＋交番）、定着支援センター3件

行政、社協、基幹センター、福祉施設等26件

弁護士1件 支援団体1件 病院0件 通行人等2件

連絡方法 ・メール28件 ・電話75件 ・直接10件

⑥住宅確保要配慮者居住支援法人（認定：2018年（H30）9月26日）

イ) 保健・医療等の支援事業

・受診・治療を円滑に行えるよう医療機関への受診予約などの連絡及び同行支援
実数 6人

- 対応
- ①膀胱癌治療のため、入退院前後の見守り
生活保護申請、傷病手当の手続き支援
 - ②介護支援 脳梗塞発症後の退院手続き、介護認定支援
老人施設への移送手続きサポート
 - ③交通事故対応 救急搬送先にて本人確認、入院手続き。市中央区保護課との連携
警察からの問い合わせ対応等。リハビリ病院への転送手続き等サポート
 - ④甲状腺治療、内科医院、病院での受診予約、同行・同伴サポート。並行して、療育手
帳（知的障碍）、精神福祉手帳の取得支援
 - ⑤乾燥野菜作業中に足を怪我。病院同行。
 - ⑥入れ歯等、歯科治療支援

ウ) その他第3条(定款)の目的を達するために必要な事業

- ① 運営会議を毎月1回開催。(情報交換・問題点解決への話合いの実施)
開催数：11回
参加者数：実参加者数14名(参加者延べ73名)
- ② 仲間づくり、コミュニケーションを図るための企画
 - ☆ クリスマス会の開催 12月13日(日)
会場：二葉コミュニティハウス分室 参加者数:23人 (内 職員、ボランティア
他11人)
 - ☆ まちかど館大掃除の実施
12月25日(金)～27日(日)
まちかど館第一の乾燥野菜作業場 / まちかど館第一及び第二の居住場所
参加者数:15人(内、入居者8人 まちかど館以外4人 スタッフ3人)
 - ☆ 社会復帰の準備として、ボランティア体験を推進した
体験者 : 2人 体験事業所:シネ・ウィンド

エ) 政策提言・研究・各種研修会・広報活動

- ① 諸会議、研修会への参加は、コロナウィルスの影響により、オンライン出席及び書面出席
を行った。
 - ・就労準備支援事業者打合せ 主催：新潟市福祉総務課
今年度、開催なし。
 - ・生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議
主催：新潟市パーソナル・サポート・センター
出席数：6回 於：勤労福祉会館 出席者 二宮
 - ・NPO法人ホームレス支援全国ネットワークの総会書面出席
出席数：1回 出席者 寺尾知香子
- ② 広報活動
 - ・4/13 ろうきん営業部長のまちかど館作業見学
 - ・5/14, 7/6「コロナウィルスによる生活困窮者への影響について」NHK電話インタビュー
取材応答
 - ・6/24「BSN放送局「3時のカルテット」出演：梅干し事業紹介(ラジオ出演・寺尾)
 - ・9/3 ハローワークよりまちかど館の見学に訪問受け入れ。
 - ・10/21 糸魚川市自立支援センターより まちかど館について照会有り。説明をした。
 - ・11/25、12/11 コロナウィルス禍のホームレスやSOS等について取材及び視察を受ける(読売
新聞)
 - ・12/1 乾燥梨「ル・レクチェ」の pari 出品の取材(新潟日報社) ※2020年12月29日記事掲載

- ・12/2 支援ネットの活動、生活保護の手続、行政の対応等について、取材を受けた(読売新聞)
※2020年12月6日記事掲載
- ・1/18 乾燥梨「ル・レクチェ」のパリ出品の取材(日本農業新聞) ※2021年2月9日記事掲載

自立支援ネットにいがたの活動の紹介、会員増強のための宣伝を行う

- ・ホームページへ日々の活動内容を掲載
- ・野宿者向けのチラシを公共機関に設置を依頼(図書館やユニゾン等の男子トイレに設置)
- ・支援ネットのパンフレットを会合等で積極的に配布

II. 就労支援事業・就労準備支援事業

ア) 就労準備支援事業

A. 受託事業

①受託事業名：新潟市就労準備支援事業

委託元：新潟市

支援者数：年度実数 12人

②受託事業名：古町6地区通行料調査

委託元：古町通6番町商店街振興組合

実施日：10月17日2名、3月26日2名

③受託事業名：本町14自治会ゴミステーション清掃事業(3箇所)

委託元：本町通14番町自治会

実施期間：2020年4月1日～2021年3月31日の毎週火曜～土曜

毎月第2日曜日(資源ごみ回収作業)(除：1月、2月)

実施時間帯：午前6時～10時(ゴミ収集車の作業終了まで)

参加者：実人員4名 延べ日数266日(内、10日は資源ごみ回収作業)

B. 自主事業

自主事業として、乾燥野菜の製造・販売事業の推進をした

目的：軽度の知的障害、発達障害、高齢者で体が健康な人、その他就労が難しい人が能力に

応じて働ける場を作り、社会参加できる場所を作る

①乾燥野菜・乾燥果物 製造・販売事業

作業回数：計166回

参加者：実人員16名(延べ参加数：726名) (含：ボランティア、職員)

乾燥野菜の種類：玉ねぎ 人参 ジャガ芋 ゴボウ ピーマン 大根 茄子 レンコン等14種類

乾燥果物の種類：苺(越後姫)、柿、和梨(幸水、二十世紀、他)、洋梨(ル・レクチェ)

仕入先：苺(諸橋農園：江南区) / 梨(角田農家：江南区 / K農園：秋葉区)

野菜(民蔵ファーム+近隣協力農家：阿賀野市) 瀬倉蓮根農家：五泉市) /

(坂田農園、阿部ファーム：北区)

委託販売先：お富さん万代店(ピア万代) / 豊栄わくわく広場ふるさと村店

スーパーウオロク(10店舗) /

横場精良堂

その他販売方法：当法人の協力事業者及び友人、知人を通じての販売

まちかど館第一(本町14)作業所前で販売

無償提供先：会員や入居者ならびに作業協力者に提供

当法人の協力事業者及び友人、知人を通じての販売

②梅干作り

作業日数：計26日

参加者数：実人員20名(延べ参加数：239名)

仕入れ量： 50 k g
製造量： 40 k g (65 p + 27 袋) 販売数： 51 p (165 g / p)
仕入先： 角田農家：江南区
販売先： 当法人の協力事業者及び友人、知人を通じての販売
まちかど館第一 (本町 14) 作業所前で販売
無償提供先：会員や入居者ならびに作業協力者に提供
今年は、梅が不作・不良のため、製造量減少。

③ 干し柿作り

作業日数： 計 20 日
参加者数： 実人員 15 名 延べ参加数： 141 名
製造量： 1,033 個 (パック詰め L/81 p、M/379 p、S/84 p)
販売数： 下記の通り完売
その他： 一部販売、その他は会員や協力者の方々に頒布
仕入先： 柿 (角田農家：江南区 / K 農家：秋葉区)
委託販売先：お富さん万代店 (ピア万代) / 豊栄わくわく広場ふるさと村店
スーパーウオロク (10 店舗)
その他販売方法：当法人の協力事業者及び友人、知人を通じての販売
まちかど館第一 (本町 14) 作業所前で販売
無償提供先：会員や入居者ならびに作業協力者に提供
当法人の協力事業者及び友人、知人を通じての販

売

イ) 就労支援事業

- ① 就労を促進するため求人情報の提供、ハローワークの求人票の味方のアドバイスを行った
実人数 2 名 (述べ回数 5 回)
- ② 協力事業者へ就職を仲介した
仲介者数 1 名 就労者数 1 名

III. 自立準備ホーム事業」受託事業

緊急的住居確保・自立支援対策 「
委託者：新潟保護観察所
受入数：1 名
受入れ日数：84 日/延

IV. その他会議の開催

ア) 通常総会

書面による決議決定を行った。

経緯：4 月 26 日の理事会において、コロナウイルスの拡散防止に考慮し、5 月 24 日
(日) 新潟市総合福祉会館会議室で開催予定であった定時総会を中止し、書面による議
決権行使に変更する旨の決議を行い全員の賛成で可決されたため、書面決議を行った。

イ) 理事会

日時 2020 年 4 月 26 日 (日) 午後 2 時 00 分～
会場 特定非営利活動法人自立支援ネットにいがた会議室
新潟市中央区古町通 13 番町 5153 番地 26
規約で定めた事項について、審議、議決するために理事会を開催した

ウ) 監査会

2019年度決算について2020年5月11日に監査を実施した。

(特非) 自立支援ネットにいがた

監事 上野 守

監事 海津 一義

IV. その他報告

助成金

1) 生活弱者支援事業助成

公益財団法人内田エネルギー科学振興財団

ホームレス生活を脱した人たちをはじめとする住宅困窮者が製造する乾燥野菜・果物製造販売事業の点検・改革

—販売強化のため専門的知識を有するコンサルタントからの助言—

200,000円

寄付等

寄贈者：新潟青果協会/中央区社会福祉協議会 寄贈物品：りんご20kg・みかん10kg

：改観寺（秋葉区） 寄贈物品：古着、布団、タオルケット等

：H氏（五泉市） 寄贈物品：米30kg

：新潟フードバンク 寄贈物品：食品多数

：寄付金総額 543,583円（寄付者15名）

以上